

学校経営目標	具体的計画	本年度の達成基準	自己評価（最新）		
			本年度の達成状況	評価	総合評価
<p>1 教育内容の工夫・充実と適切な評価活動による授業づくりの推進（心豊かに・自ら学び）</p> <p>○教育課程改編委員会を中心に、社会参加を見据え、小・中・高12年間を見通した一貫性のある教育課程を構築し、指導・支援の系統性を図ると共に、外部専門家を活用して授業改善を進める。</p> <p>○授業づくりの基盤となる専門性や資質の向上を図るため、研修体系を再構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「授業力の向上に向けた取組」を全校研究テーマとして、「自ら学び考える力を育てる授業づくり（Ⅰ類型）」や「客観性のある実態把握と指導の系統性を明確にした授業づくり（ⅡⅢ類型）」に取り組む。（平成29年度を目標に研究・実践発表会を開催する。） 専門性の見える化、研修の精選、キャリアに応じた研修設定、OJTの組織づくり、専門性のセルフチェックシート作成と活用。 	<p><保護者アンケート></p> <p>①個別の教育支援計画や個別の指導計画について説明をうけて、指導のねらいや達成度についてよく分かった。</p> <p>②特別支援学校の教職員として必要な知識・技能をもとに児童生徒を指導している。</p> <p><職員アンケート></p> <p>①懇談等において個別の教育支援計画・個別の指導計画の説明をすると共に、保護者と共通理解を図りながら、実践及び評価ができた。</p> <p>②肢体不自由特別支援学校の教師として、専門性の向上に努めながら児童生徒を指導することができた。</p>	<p>・保護者アンケートでは、①の項目の肯定的な回答（AとB）が100%、昨年比プラス1.1%②の項目の肯定的な回答98%昨年比6.2%で、昨年度よりもともに高い評価であった。</p> <p>・職員アンケートでは、①の項目の肯定的な回答は95%昨年比プラス1.7%②の項目の肯定的な回答は、82.1%で昨年比マイナス7.4%であった。</p>	<p><保></p> <p>①A</p> <p>②A</p> <p><職></p> <p>①A</p> <p>②B</p>	A
<p>2 保健安全教育の一層の充実と教育環境整備（健やかに）</p> <p>○日常的な健康管理や安全管理の情報を共有し、見える化を図りながら的確な危機管理対応を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な医療的ケアの実施ができるよう、確実な連携と環境整備を図る。 人権やプライバシーの尊重、個人情報の保護を徹底し、児童生徒に真摯に向き合い丁寧な指導・支援をする。 防災意識を高め、保護者や地域と連携しながら安全な教育環境の整備を進める。（水害対応型体育館の新築をめざす。） 	<p><保護者アンケート></p> <p>③病気やけがなどの時の対応が適切になされている。</p> <p>④学習をするのにふさわしい清潔で安心・安全な環境が整えられている。</p> <p>⑤お子様のプライバシーの保護やお子様への言葉かけ、指導について人権が尊重されている。</p> <p><職員アンケート></p> <p>③健康管理（医療的ケアを含む）及び病気やけがなどの対応が適切にできた。</p> <p>④安全・安心な学習環境を整えることができた（防災等を含む）。</p> <p>⑤言葉かけや日常の介助の場面を含め、児童生徒のプライバシーや人権を尊重し、個人情報の保護を徹底する環境が整備された。</p>	<p>・保護者アンケートでは、③の項目の肯定的な回答は98.9%、昨年比プラス1.2%。④の項目の肯定的な回答は96.9%、昨年比プラス4.9%ではあるが、唯一回答にDがあった。⑤の項目の肯定的な回答は95.9%。Cの回答が2番目に多い項目であった。</p> <p>・職員アンケートでは、③の項目の肯定的な回答は92.7%。④の項目の肯定的な回答は92.7%⑤の項目の肯定的な回答は95.2%であった。④の項目は昨年比マイナス1.6%だが、他は前年との差少ない。</p>	<p><保></p> <p>③A</p> <p>④A</p> <p>⑤A</p> <p><職></p> <p>③A</p> <p>④A</p> <p>⑤A</p>	A

学校経営目標	具体的計画	本年度の達成基準	自己評価（最新）		
			本年度の達成状況	評価	総合評価
<p>3 開かれた学校づくり（つながって）</p> <p>○個々の願いを大切に、学校生活、将来の自立に向けて付けたい力、進路に関する情報等について、家庭と学校が相互理解し、合意形成を図りながら、協力して教育を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域との双方向のコミュニケーションをめざし、HP等による積極的な情報発信を行う。 ・個々の障害の状態や特性ならびに地域の学校の実態に応じて交流及び共同学習を推進していく。 ・校外学習や進路に係わる実習等の教育活動に地域の人的、物的資源を積極的に活用していく。 	<p><保護者アンケート></p> <p>⑥ボランティアや外部の専門家などを授業や学校行事に活用している。</p> <p>⑦学年通信や学校からのたより、懇談などで授業や学校での様子がよく分かる。</p> <p>⑧お子様の学習のことや将来の進路などについて教職員と相談したり、話し合ったりすることができる。</p> <p><職員アンケート></p> <p>⑥ボランティアや外部の専門家を授業や学校行事、職員研修に効果的に取り入れることができた。</p> <p>⑦授業や学校での様子、進路・福祉等の必要な情報を懇談や学年通信等で分かりやすく迅速に伝えることができた。</p> <p>⑧本人・保護者の思いを受け止め、相談しながら、学習や進路についての指導を進めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、⑥の項目の肯定的な回答は96.8%。⑦の項目の肯定的な回答は96.9%。⑧の項目の肯定的な回答は93.6%。3項目とも前年より肯定的な回答が若干増えている。ただし⑧の項目のCの回答はアンケート中最も多かった（C回答6.4%） ・職員アンケートでは、⑥の項目の肯定的な回答は70%で、全項目中最も低い回答であった。また前年比マイナス11.4%である。⑦の項目の肯定的な回答は90.9%。⑧の項目の肯定的な回答は90.1%で、前年比マイナス1.7%。記述意見に進路の話ができなかったというものがあつた。 	<p><保></p> <p>⑥A</p> <p>⑦A</p> <p>⑧A</p> <p><職></p> <p>⑥B</p> <p>⑦A</p> <p>⑧A</p>	A
<p>4 特別支援教育のセンター的機能の充実（つながって）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由教育の拠点校として、特別支援学校と協力しながら、幼・小・中・高等学校等や地域への支援（教育相談・個別の教育支援計画の作成、専門的指導等）を積極的に行う。 ・学校公開・授業公開・公開講座・学習教材の紹介等の情報発信を行い、特別支援教育を推進する。 ・地域の自立支援協議会等へ積極的に参加し、家庭や医療、居住地の福祉等関係機関との連携を一層強化するとともに、情報の収集・発信に努める。 	<p><保護者アンケート></p> <p>⑨お子様のことについて、医療や福祉等関係機関と連携を図りながら指導している。</p> <p><職員アンケート></p> <p>⑨家庭や医療・福祉等関係機関との連携を図り、必要な情報を収集したり、発信したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、⑨の項目の肯定的な回答は96.8%。（今年度新規項目） ・職員アンケートでは、⑨の項目の肯定的な回答は83%で、全項目中2番目に低い回答となっている。（今年度新規項目） 	<p><保></p> <p>⑨A</p> <p><職></p> <p>⑨A</p>	A